常磐毎日新聞
日刊
九月十日夕刊
定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京 四〇二一〇番

天氣豫報
今晩は北東の風 曇小雨
明日は北東の風 曇小雨風强かるべし

石炭增産の五ヶ年計劃
平市に礦業補習學校
けふの市會異議なく承認

平市に對し商工省より石炭增産五ヶ年計劃に伴ふ技術員を補給の爲め鑛業補習學校の設置方を通報し來たが同校に關する一切の費用は商工省及び炭礦側の負擔となるものであり平市としては現在の商業學校に併設するの意嚮を有しけふの市會は滿場異議なく承認を與へた

一、目的…常磐炭田の炭礦現場員を速成せしむるを以て目的とす

二、入學資格…各炭礦在職中にして中等學校三學年修業程度（高等小學校及各種補習學校の卒業者中優秀者をも含む）以上のもの及各礦に於て係員として養成すべく推薦せし實地經驗者の中より會員炭礦從業員を主とするも定員に餘裕ある場合は會員外炭礦及一般よりも入學せしむることを得、年齡滿十七歲以上のもの

三、學年制…二學年制とし最初の六ヶ月は各自炭礦に於て實習、殘餘の一ヶ年半は實習及學科とし實習は各自炭礦に於て行ふものとす但し實習炭礦を有せざるものは學校より適當なる炭礦に依賴す

四、敎授の方法…敎授時間は二部制とす

學科
第一部午後三時―五時
第二部午後六時―八時
實習は適宜各自炭礦に於て行ふ

五、募集生徒人員…有資格者は全部初年度約百名

六、學科目
1地質―常磐炭田の石炭及母炭の大要斷層節理、地下水（溫泉）と斷層炭柱圖の見方
2發破―ドリル、タガネ、コンプレッサー大要、火藥發破法及其の保安
3支柱―支柱法の種類落磐防止法
4通氣保安―通氣理論の大要、通氣法、ガス排除法
5電氣機械の大意
6變災に對する心得―出水、自然發火、其他の災害、救急方法心得
7鑛業警察規則の解說
8鑛業常識修身
9科外講義

七、敎員
主任敎授一名
（適任者の選定要）
助手二名（同）
囑託五名（同）

八、校舍
1新設
2借用

九、豫算
1建設費
△校舍一〇、五八〇圓
△敎室二、實驗室一、敎員室一、一棟一一〇坪八、八〇〇圓△宿直室、小使室一〇坪八〇〇圓△便所三坪二四〇圓△玄關三坪二四〇圓
△其他五〇〇圓
▲敷地二、八八〇圓
△土地買收四八〇坪二八八〇圓
▲什器二、三〇〇圓
△机、腰掛一〇〇人六〇〇圓△實驗道具、標本其他一二〇〇圓△其他ノ什器五〇〇圓諸雜費一、〇〇〇圓 合計一六、七六〇圓
2經常費（月）
△專屬敎員三名―一一五〇圓 二―各一〇〇圓、三五〇圓△囑託五名月二〇圓一〇〇圓△使用人一名月四〇圓四〇圓△消耗品月二〇圓二〇圓△營繕費月一〇圓一〇圓 計五二〇圓

けふ市會に推薦
助役に伊藤氏
元の會津支廳長
收入役等も推薦

本日の平市會に於て靑沼市長より助役及び收入役を左記の如く

助役 伊藤秀吉
收入役 西野源次郎
同代理 草野常彌

推薦された、助役の伊藤氏は安積郡の出身元會津支廳長、縣の商工水産課長等を歴任現に稅務主事として縣廳庶務課に在任年齡五十歲の働き盛り、また西野氏は町制時代からの收入役、草野氏は元の平窪村長、現平市主事で何れも明日からの戸數割委員會を終つて十四日の本會議迄保留された

中等學校生徒の體育向上に邁進
優良者を選定表彰

國民の體育向上が叫ばれてゐる折柄中等學校生徒の體位向上施設は最も重要視すべきであるとの見地から市內各中等學校でも縣學校衛生會と協力、今年から健康優良生徒の選定表彰規定を設け健康增進體位の上昇を圖ることゝなつた、本年度は年齡十六、七才の目下在學中の生徒を九月以降約一ケ月に亘り體格運動能力の檢査をなし一校一名づゝ最も優秀なる生徒を選拔、十月十日までに縣に報告、縣に於て再審査の結果男女生徒五名が表彰されるわけである

☒寫眞 雨聲嬉しく

明日の二百廿日
颱風を警戒
測候所の赤信號

農家にとつて第二の厄日二百廿日（十一日）は明日に迫つた、第一回厄日は靜穩無事に過ぎ結實期に入つた稻作は稀に見る豐作を豫想されてゐるだけに農家はこの厄日の天候如何にと全神經を集中しつゝあるが小名濱測候所では颱風襲來のおそれあり警戒せよとの赤信號を發表した

即ち十日朝の觀測によれば目下七百三十ミリの颱風は那覇の南々東二百キロ海上を北々西に猛進中で、沖繩及び南大東島付近は早くも暴風となつてゐる一方低氣壓は樺太近くにあり千島にかけて低氣壓となつてゐるがそこから伸びる不連續線は四國沖にまで達し颱風近くにかけ低氣壓の滯となつてゐるので颱風は九日夜來方向を變へ更に勢力を增して東上九州四國近畿地方を經て漸次東上、するものと見られるからたとひ濱通り地方が颱風の中心にならなくとも相當の影響を受けることを豫想せねばならぬなほこの颱風が一過すれば急に秋らしくなるだらう

鰯揚繰統數問題
具体的協定成立
相互三十統に制限

本縣と靑森縣との鰯揚繰漁船の入漁船數は相互十一統となつてゐたが昨年九月十二日この協定を結んだのみであるのに現在では相互十一統を遙かに超過してゐるのでその制限を三十統にしてはどうかとこの程縣水産課から靑森縣に照會したところ別段異議はなく協定が纏るものと見られ又岩手縣との入漁統數は相互五十統としたい意嚮で交涉中であるが最近漸やく兩縣共歩みを寄せてきたのでこれも近々中には解決具體的協定が成立する見込みで本郡地方を始め濱通り漁業家の受ける影響頗る甚大で非常に喜んでゐる

委員會を組織
業界統制指導
飛躍する工業界

工業地として新らしき飛躍を見せつゝある本郡地方は日曹工場の新設、昭和人絹の振展その他水産加工に織工業に著しき發展を見せ『工業縣福島』に相應しい有力な要素を加へてゐるが今回縣當局でもこの進歩的な新動向に應し縣是を決定統制指導を行ふべく地方工業化委員會を組織することゝなり目下準備を進めつゝある、同委員會は縣の工業關係委員試驗場職員軍需品下請指導員等を委員とし組織されるもので、地方工業化に可能なる事業種目及び地域施設を調査又下請工業の助成獎勵、未開發資源の活用による地方の特産、産業振興、低廉なる動力利用による工業の動力化等を圖る一方軍需工業地方分散化を叫び中央の趣旨に則り各種下請工業の普偏化を圖るのもその重要なる命題の一つとなつて居り、實現後の活動が期待されてゐる

時局が反映
紹介所が多忙
何れも軍需關係のもの

時局が反映して炭礦工場等では目下躍起となつて從業員募集に當つてゐる結果各職業紹介所も先月來俄に多忙を極めてゐるが平紹介所の八月中の成績を見ると求人男八百九十、女十六計九百十四名で前年に比し五百十九名といふ二倍以上である、大口なのは炭礦坑夫と職工及び土工等軍需關係のもの許りである

中島氏出發

既報過般退職郡山市で公證人になる事となつた平區監督判事中島十藏氏は來る十四日平八時三十分磐越線で出發するが郡山市堂の前二八に居を構へるといふ

入山の庭球

玉川村は消防組が主體となり

女子の坑內勞働
特に許可となる

女子の坑內勞働は禁止されたが今回常磐左記十一炭礦の二百五十三名の後山婦の坑內就業が仙臺鑛山監督局から許可になり去る一日から實施されてゐる、更に四、五炭礦からも許可申請中であるまた選炭婦の深夜業も來年九月禁止となる筈だが目下當局で考究中であるとこれは戰時體制による石炭の增産に拘らず勞働者が著しく不足を生じ出炭能率が極めて上がらぬので商工省が向ふ一ケ年の條件付で許可する事となつたものである

磐崎村小野田（五十名）同戸部第二（十三）同戸部（十九）好間小田第二（五十五）赤井村川瀨（十五）內鄕村杉山（十三）同浪花（十九）同宮（九）好間村隅田川（三十七）磐崎村磐崎（十七）

非常時の乃木祭
各校盛大に
大將の劇やお話

市內各小學校は來る十三日の乃木祭に際し夫々校[illegible]の將軍に關する講演會を催し在りし日の面影を偲ぶ事となつたが第二校はこれに因んだ小學藝會を催す外各學年代表の將軍に關するお話會を催すといふ

平商成績品展

既報來る十月十三日陸上運動會を開催する平商は併せて同校生のポスター其他各種成績品の展覽會を催す事となり目下これが製作に精進してゐる

世は正に準戰時代
早くも志望者殺到
芝浦日鋼職工應募

既報平職業紹介所が過般來募集してゐた芝浦製作所の職工採用試驗は來る十三日同日本鋼管は來る二十日何れも午前八時から平第一小學校講堂で執行されるが目下の申込者は芝浦希望八十名、日本鋼管三十名內外で締切迄には相當數に達するものとみられる

老婆刎ね飛さる
目も耳も不自由で
驀進列車に氣つかず

泉村道上熊太郎母小泉とき（七〇）は九日朝九時二十分頃同村上原地內常磐線踏切りを通行せんとした折柄、目も耳も不自由なので驀進してきた上り旅客列車に氣付かず跳ね飛ばされて即死した

網泥棒檢擧

四倉町網元鈴木米吉方雇人千葉縣生れ矢代末吉（二八）は昨年春から數回主人の地曳網を盜みこれを四十五圓で買却逃走中七日夜郡山署員に檢擧された

初秋のスポーツ
郡下兒童籠球大會
代表は何處

郡下小學校兒童籠球大會の第三區平第一外十六校の豫選は既報の如く愈々明十一日午前八時半から市內第一（高等科男女）第二（尋常科男）第三（尋常科女）の各コートに開催參加三十餘チームはいづれも母校の名譽にかけて奮戰する筈であるが審判員は左の如く男女共各決勝戰は臨んだ二チームが代表となるわけである雨天の場合は順延

△第一コート三森、米本、石田、中山、△第二コート高畑、大友、熊谷、鈴木愛、△第三コート西牧、高木、横田、橋本

拓殖實習生徒募集
希望者は市役所へ

平役市所は縣からの通牒により市內から北海道拓殖實習生を募集する事となつたが募集人員は三百十名、資格は

一、志操堅實にして將來北海道に於て自ら開拓に從事する者
一、年令十七才以上三十才未滿の男子
一、身体强健品行方正にして勞働に堪へ得る者
一、實習期間中家事上の支障なき者

等で入場後は寄宿舍に入舍せしめ食費は場費を以て支辨し毎月三圓內外の手當を支給する外作業服も支給し終了後は許可移民同樣十町歩以內の未開地貸付を受くる外住宅補助二百五十圓、種子、農具、肥料の現物交附、耕馬、乳牛購入補助、開墾補助等起業を助成し速に巧の途を講ずるといふ希望者は來る三十日迄市役所を通じ縣廳に願書を提出されたいと

駐在所改築

入山炭礦では今回庭球コートが出來上つたので來る十二日午後一時からコート開きを兼ね從業員の庭球大會を開く

國旗柱樹立
材木町靑年團

市內材木町靑年團は國家非常時局に鑑み三十九圓を醵出同町大杉稻荷神社境內に高さ四十尺の國旗掲揚柱を建立した

平市人事

回婚姻
△白銀町四藏七氏三男滿野隆吉君（二九）と立町九六しんさん三女矢部ミツさん（二四）

回出生
△胡摩澤二二古川三吉氏長女俊夫君
△四軒町二三神田常松氏長女隆子さん

JOHK

今晩の部
▼後六〇、〇 お話「空を見る」野尻抱影
▼後六、二五 講演「國土防衛と遞信」遞信大臣永井柳太郎 二「防空と鐵道」鐵道大臣中島知久平
▼後七、四〇 管絃樂「歌劇『カルメン』の四つの前奏曲」外日本放送交響樂團
▼後八、〇五 舞臺劇（明治座より）「母性動員」井上正夫外
▼後九、〇〇 時事解說「戰時體制下の經濟立法」大藏政務次官經濟博太田正孝
▼後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部
▼前一〇、三〇 家庭講座「秋口に起り易い病氣とその手當」醫博齊藤弘
▼後〇、〇五 マンドリン合奏東京マンドール
▼後〇、二三 國民歌謠「北平入城」外永田絃次郎
▼後六、〇〇 幼兒童話「コホロギサン」オハナシクラブ
▼後六、二五 講演「國民の瓦斯防護に就て」陸軍少將安達十九
▼後七、三〇 國民精神總動員大演說會（日比谷公會堂より）
▼後八、三〇 お祖父さんの軍用鞄をあけたら從軍手帳朗讀前田晃外

白柄劍風連

大島多慶夫作
井川洗涯畫
布施長春畫
村瀨春映畫
[illegible]

……二五〇……

藏前八幡社（八）

『よく判り申した。幸ひ明朝未明に和歌山に向けて、飛脚を差向ける手筈に相成つて居るから、國家老秋元播磨殿の御許可を得て、いづれとも御返事いたさう。手前の一存では多分お聞き届け下さるものと存じる。それは能く書面に認めて上達いたす所存でござる』

『では甚だ身勝手な御願ひにござりますが幾重にもお賴み申す』

『お引受いたした』

と、左膳は强くうなづいた。

齋之助の縋つてゐた眼は明るく輝いた。

齋之助は左膳に、自分の身の上を洩れなく語つた。うなづきながら聽いてゐた左膳は、果して想像してゐた通りなので、自分の鋭い眼識を誇りたいやうな氣持にもなつたが、まづ虎の尾をふんでゐるやうな危險な齋之助の境遇から救つてやりたいと考へた。

『いや。能くお打明け下すつた。多分は左樣でないかと手前も推察いたして居つた、で早速でござるが……御身の身體を充分に保護いたさなければならぬ。最も御身は大納言樣の御味方の一人でござるからのう』

と、左膳はニヤ〳〵笑ひながら低い聲で云つた。

紀州屋敷の一角。武家長屋と長屋の路地を入つた江戸家老詰所の一室を、あてがはれてゐる左膳一味の隱密は、少しの不安もなく城郭のやうな邸內にかくれて堂々と謀略をめぐらしてゐるのである。

左膳は今。土岐齋之助を自分の室へつれて來て、やうやく其秘密を知つたので、假令へ齋之助が紀州藩士に捕へ上げられない以前であつても、こゝに置いて完全に保護を加へてやらうと決心をしたのであつた。

『土岐氏。幸ひ此處は公儀の手が延びない至極安全な場所ぢや。藩の人々には手前の同志といたして紹介をつくらふから、安心をいたしてこゝに御出なされ』

と、感激して涙に光る眼を膝の上におとしてゐる若人の方を見つめた。

齋之助の瞳には充分に安堵の色が流れた。

『辱なうござる。何しろ。薄い氷の上を渉つて居るやうな危い身の上。何卒宜しくお願ひいたす』

と、齋之助は兩手をついて俯向いた。

夜はまた宵であるが、家臣のなかは森閑としてゐた。たゞ遠く近く犬の吠えてゐる聲と、夜を警める拍子木の音が絶えさうにひゞいてゐる。

齋之助は死人の小左衛門と天王橋で會ふ約束を思ひ出した。

『おゝ。町奴と約束いたした今夜の會見。臨屋氏。いかゞいたしたものでござらう』

と、齋之助は溜と張のある眼を障子に光らせた。

『左樣ぢやのう』

と、左膳はじつと考へてゐたが

『いや。御身が何處の誰と名乘つた次第でもない。まあ打捨て置きなされ。大事の前の小事ぢや。彼等から見れば臆病者だと笑はれても、それは暫しのことぢや。はゝゝ……』

『それは左樣でござるが……？』

『御心配なさるな。多寡が町奴ぢや。何程のことがあるものか』

『では打捨て置くことに致さう』

と、齋之助も決心した。

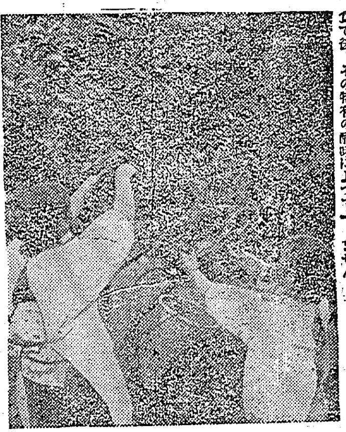
時。みしり。みしり。と靜かな足音が聞えた。

枝もたわゝに——たかい秋空を彩る
つぶらな秋の木の實
栗、柿、林檎から、ぶだう、梨など見るからに食慾をそゝられる

天高く馬肥ゆる秋です、果物も實ります、柿が美しく秋空を彩ります、健康は果物から果物はこの殘暑でぐんと增收でせう、さア坊やも姉さんもお婆さんも、お爺さんも立派な身體をとりかへしませう

美しい色、ほのかな香、見るからに食慾のそゝられる秋のくだ物は食て後、その特有の酸味によつて食慾がすゝみます、而もくだ物自身のもつてゐる豐富な榮養によつて秋の健康をつくりだす最上の王座を占めるのであります

まづーどんなくだ物にも糖分が必ず澤山ふくまれてゐます、栗、椎等の乾菓類には特に多く、葡萄その他柿、りんご、梨いづれも糖分にめぐまれてをります この糖分は葡萄糖、果糖等で、消化吸收がきわめて早く、疲勞を恢復し、活動力をまします 次に鑛類も豐富でこの鑛類は葡萄、りんご、梨等に多く、この中には骨や齒をつくるに大切な石灰や腦の榮養に必要な燐酸、血をつくるになくてはならぬ鐵分をふくんでゐます、ヴイタミンはCがもつとも多くA、Bもこれにつぎます、Bは葡萄、栗りんご等に特に多く、Cは梨、柿、りんご、葡萄が豐富に供給します、栗とか椎にはCはありません



くだ物をたべるには、生食するのがよいので纖維が多いから多少不消化ですが煮れば消化がよくなります、もつとも煮ると大切なヴイタミンCがなくなりますから生食に越したことはありません、秋のくだ物にかぎらず、貯藏しておくと**甘味**がましますが、それは糖分が增すためでなく、酸味が減ずるためです、あまり酸のなくなつたものはかへつてよくありません

栗や椎の貯藏は比較的容易ですが、りんご、柿、梨はなるべく早目に上つて下さい、水分の多い葡萄を貯藏するには、明ばん水にひたしてから、かわかし、紙につゝんでおけば、永くもちます、柿には酸よりも澁味で甘味のわからない澁柿がありますが酒、微温湯、炭酸ガス中に放置すると脫澁して甘味が出ます、これはかうすると澁味の素であるタンニンが水にとけないやうになるためです

糖分ばかり重要ではなくてりんごでは糖分、酸分の他にペクチンといつてニカハ質のものがありますりんご療法といつて下痢をりんごでなほす時役立つといはれてゐます、りんご療法は一九二〇年モローといふ人がはじめたものだそうであります

こんなのが惡妻
思ひ當りませんか

▼ー（シカゴ發同盟）結婚は一生の大事、男子の成功、不成功の少くも五十パーセントは妻の如何にかゝる——といふ前提から、米國心理學協會シカゴ支部長ロバート・マクマリー博士はこの種男子を失敗と不運とにみちびく性質の妻の特徴を次の樣に列擧した

▼ー（一）夫に對して意地が惡い女（二）夫を小馬鹿にする女、たとへば夫の國訛を直したりする女（三）金使ひの荒い女、殊に賭の好きな女、（四）身體が弱くて病氣がちの女（五）いつも夫をやりこめて得意になる女（六）夫に對し結婚前の氣分をもつて干渉する女（これは實際やりきれない話だ！）（七）何事も「お山の大將」になりたがる女

▼ーこれに對して良妻の條件はタッタ一つだが、しかしこれはなかなか大切である、曰く「あらゆる事において夫のよき助手たること！」

ー家庭メモー

胡瓜を色よくつけるコツ きうりでも越瓜でも、笹の葉を瓜の間にはさんでつけると、靑々として歯ぎれよく、おいしくつかります。奈良漬にするにも、かうしてつけてから、かすに入れると、色よくつかります

ぜひおすゝめしたい 美しいバラの栽培
來春の花をたのしみつゝ、今が植付け時です

▲▲ーさわやかな秋、ひいやりとする土の感觸を樂しみながら……丁度今からが美しいバラの植付け時です、バラは古來日本、支那、インド等の東洋諸國に野生してゐたのですが、かへつて西洋において盛んに栽培され、殊にイギリスではもつとも盛んに栽培され改良されたものです、このやうにバラは古くから栽培されてはゐましたが今日になつても決して古くさいといふものはなく、近代人の趣味とも合ふあかるさをもつ

▲▲ーわが國ではこの頃よく大溫室などで切花用に栽培されてゐますが、一般的にはまだ專門家以外にはさう普及されてゐません、そこでこの美しいあかるいバラの栽培をおすゝめしたいとおもひます

▲▲ーバラの植付は十月から十一月一杯が適時で、バラの性質として比較的粘質の肥沃な土壤と日當り、通風、排水のよい場所をこのみます、その種類は栽培の目的によつてえらばなければなりません

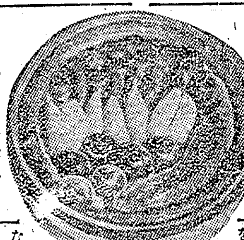
▲▲ー即ちお庭のアーチ、かき根、洋館の壁などにははせ飾らうとするにはつる性種、花壇や溫室に栽培するには木立性種を選びます、次に花の咲く時期から分けると一季咲き（春五、六月に咲く）二季咲き（春秋二季にさく）三季咲き（春から十二月頃までさく）の三種になつてゐます

▲▲ー前述のやうな場所を選び苗を植付けるのですが、苗は去年の春または秋につぎいだ物（二年生）今年の春つぎいだもの（一年生）を買ひ入れるわけです、そして適當の長さに剪定し、土壤が不良のときは客土を行ひます、花壇などで全部客土にする場合がありますが一株づゝ離して植つけるには直徑二尺位、深さ一尺五寸位の穴をほり客土として荒木田土を入れます

▲▲ーまたうゑつける場所には元肥として堆肥、魚肥、油かす、骨粉、灰等をまぜた肥料を床土とよく混合して入れることを忘れてはいけません、この元肥はいづれも充分に腐熟したものを用ひることが肝要です、これがすんだら苗を一本づゝうゑます、その深さは接口のかくれないくらゐの深さにし根元をふみつけ、支柱を立てゝむすびつけておきます

▲▲ーだがアーチなどにははせるものはあらかじめ支柱としてアーチを作つておきます、そしてうゑつけ後二、三週間しますと活着してきますから、それからはときどき薄い液肥（下肥、油かすの汁など）を追肥として施します、これで來年開く美しいバラの花が心待たれるわけです（磐戸作治氏談）

すばらしくウマイ 一口ナスのからし漬け
きうりも歯切れがよくて旨い



これから出て來る小さなお茄子でおいしい辛子漬をしておきませう

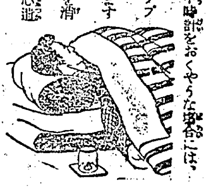
○、まづ、茄子は形のなるべく小さなキズのないものをえらび、ざつと鹽にまぶしてから鹽漬し（茄子一升について鹽七勺位の割合）かるくおしをしてそのうち水があがつて來ますから、一週間位でとりだし、水あらひします

別に辛子をねつて醬油でのばし味りんと麴を加へまぜた中にお茄子をつけ込むわけです。辛子は一升のおなすに百匁位微温湯でといたらすり鉢で辛子油の出るまで十分すり、これに醬油一合位、麴輕く一握り、みりん小匙一杯、水飴茶碗一杯（又は砂糖）まぜあはせます。これを廣口びん又は瓶にいれて、よく水切りしたおなすを上手につけこみ、蓋をしてメバリをしておきます

普通のおなすで一口なすでなく、鹽漬して辛子にいれる前に適當に切つてお入れ下さい。この分量で密閉しておけばいつまでも保ちますが、一ケ月位でめし上つてしまふなら、麴をこれより少く、鹽を多くします。家庭では大きな器でなく、小さなものに三種ぐらゐにおつくりになつておくと重寶でせう

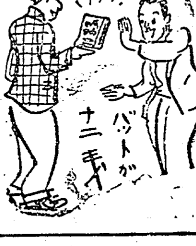
なほこの辛子漬はおなすばかりでなく、きうりにもそのまゝ應用出來ます。きうりを鹽切りにして鹽でちよつともみ、一晩鹽おしにしてから、あらつてよく水氣を布巾でぬぐつて辛子に入れると、最初よりもまだあざやかな緑が增して見るからに食慾をそゝる辛子づけが出來ます（一戶伊勢子氏）

家庭寶典
ちよつとした心遣ひ



病人の枕元に小時計をおくやうな場合には、そのうへからコップをかぶせておきますと、カチ〱と時をきざむ音を消してくれます。ちよつとした心遣ひですが、病人の心をやすらかにする上に、效果があります

◆映畫ゴシップ◆



新興大泉には二百人から人のゐるのに、撮影所のちかくにはたばこ屋が一軒もない、飯より煙草のすきな連中たまらず、持主を口說いてバット一つを十一、二錢でゆづつてもらつてゐるが、煙草なしの村だけに、持主は大した鼻息「この分だとバットが二十錢でも三十錢でも安いもんさ」は、ものが煙草だけに、煙を煙にまいた言ひ草

冬着の手入れ 今から心掛けて
染直す時の御注意

○…冬着のお手入れを、秋になつてあわてるやうでは、よき主婦とは申されません、今のうちに全部綺麗にあらひ張りして仕立直しておきたいものです、それをほどいて見たら色がさめてゐるとか、餘り長く着てあきてしまつた柄などは染直しの必要も出てまゐりませう、總體に派手色のものや、あかるい色はさめたのが目立ちますから染なほせば新しいものゝやうに更生します

○…しかし、生地によつては、染なほしがきれいに上がらなかつたり扱ひはひどく生地をいためたりして高い染代が無駄になるやうな場合も多いものです、たとへば、糸をそめて織つたかすりや縞物は色がぬけず、うまく行かぬ事が多いので、お召などは、まづ染なほしはやめた方がお得でせう、また人絹の交織も、なかなか思ひ通りの色が出ないものです

○…そこで、染なほす時の色は、暗色ですと、一層失敗しやすいのですから、色をぬいてそめるのでも元の色より濃い地色をえらぶことです

軍國海軍小說

愛慾非常線

寺崎洋々洲作

松村秀彥畫

（禁無斷上映及上演）

……組二……

魔の手（二）

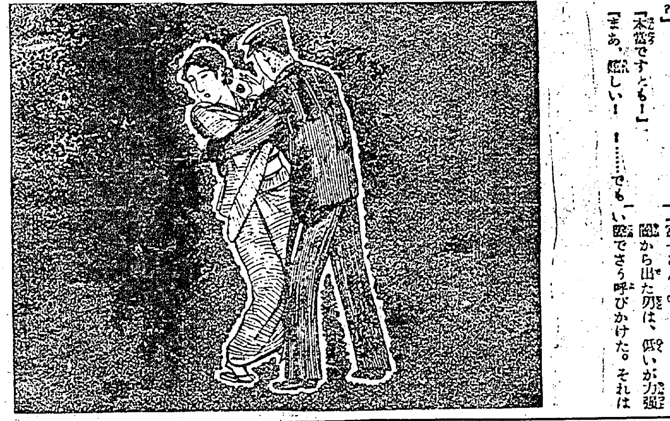
史郎は、山田が傍で盜み聽きしてゐるとも知らず、尙も言葉をつゞけた。

「それに、僕は今度の航海中に必ず折を見て艦長どのに貴女との事を打明けやうと思つてゐるんです。そして、今度の航海を終つて歸つて來たら、早速結婚出來るやうに願つてみやうと思つて居るんですから、それを樂しみにして、あまり淋しがらないで待つてゐて下さい」

「まあ、ほんと！ ほんとうにお父さまにお願ひして下さるの？」

「本當ですとも！」

「まあ、嬉しい！ ……でも、お父さま、許して下さるでせうか？」



「さあ、それは何んとも云へませんが、然し十中の八九分までは許して下さるだらうと思ふんですが……。あなたもそんな氣はしませんか？」

「えゝ、さうよ。きつと許して下さると思ふわ」

富子は、史郎の言葉をきいてやつと安心した。そして二人は歸途についた。史郎は富子の家の前まで彼女を送つて行つた。

「じや、明日の晩は、わざとお送りしませんわ」

富子の家の方へ曲らうとする露次の曲り角まで來た時、彼女はさう云つた。

「えゝ、反つてその方がいゝですよ。その代り、今度歸つて來た時には眞先に迎へに來て下さい」

史郎も別れ惜しい心もちを隱さうとしながらさう云つた。

「では、僕もう歸りますわ」

「えゝ、さうなさい。お父さまもお母さまも心配してゐませうから……」

「じや、さよなら」

「さよなら。氣をつけていらつしやい」

史郎はさう云ひ乍ら暫らく富子の後姿を見送つてゐたが、やがて思ひ切つて踵を返して歸つて行つた。

富子は史郎と別れて暗い路次を小走りに歩き乍ら家の方へと急いで行つたが、ふと横合の暗がりから、突然誰か出て來て自分の前へ立ち塞がつたので、ぎよつとして足を止めた。

「富子さん！」

暗から出た男は、低いが力強い聲でさう呼びかけた。それは外ならぬ彼の山田平八であつた

「富子さん、僕は貴女に少しお願ひがあるんですが、聞いて下さいませんか？」

山田はさう云ひながら無遠慮に富子の手を握つた。

「あら、何をなさるのです！ 放して下さい」

富子は驚いて山田の手を振り拂つて逃げやうとした。それは山田に淫らな野心のある事をうすうす感じてゐたので、寸時も早く此の場を逃げやうと思つたのである。然し、今度は山田は彼女の肩を捉へた

「何も怖がることはありませんよ。僕は貴女に僕の苦しい心の中をきいて頂き度いだけなんです」

山田は、逃れやうとする富子をしつかりと抱きかゝへながら耳元でさう囁いた。

「放して下さい！ 放して下さい！」

外科一般 レントゲン科
內臟外科 泌尿器科
北川外科
平市新川町二七（電話四六四番）
醫學博士 北川芳夫
技師 小林良次
◎晝夜診療
イツデモ入院出來マス
（血液檢査每日）

食事 喫茶 酒場を 兼ねた
レストラン
サロン
平市田町
電三五二

旅舍 大幸館
私は平市出生ですから特に郷里の皆樣方の爲に御便利を圖ります
主人 比佐棟雄
東京上野驛前（下谷郵便局横通角）
電話下谷六七七番

新研究の榮養化粧水
三共パパコロン
新製品
南洋の珍果パパイヤの果汁から抽出したパパイン酵素應用の特許新化粧水です。ニキビ・ソバカスの痕を消しスベスベしたお肌に若返へります。
一本 35セン
尙養毛料として評判のヨウモトニツク姉妹品ヨウモト香油（¥.60）もあります。
三共株式會社製品總代理店
（平市）西村屋藥局（電3）

外科
專門 X光線科
上田外科醫院
平市南町
電話一二九番

鐵道省指定記念
小名濱……湯本間乘合自動車
無料乘車券サービス

小瀧へ!!
◇宿泊料 1.50 2.00 2.50
（御滯在は左記料金にて中食料をふくませます）
◇日歸浴席料 .20
◇自炊料 .50—.80 入場料・室料 夜具料一切
◇料理一定食 .80 1.00 1.50
（その他一品料理洋食）
◇湯効 神經痛.リウマチス.胃腸病 痔疾.婦人病.逆上.中風.肥胖病
（內務省東京衛生試驗所檢定濟）
◇諸設備 撞球臺.高級ラヂオ.大廣間 讀書室.近代式浴場と洗面所.水洗式便所.小動物園.タクシー部 御子樣運動器具
◇名物 川魚料理（うなぎ.鯉）蜂蜜羊かん
◎女中數名入用◎
常磐線湯本驛 小瀧鑛泉
御旅館 御自炊 瀧の湯
電話（小名濱）103番
乘車券は小名濱馬目自動車店、西野屋自動車店、湯本驛前丸本、對自動車店に御座ます。三人樣以上はハイヤーをサービス致します。何卒御利用下さい

吉田眼科醫院
平紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券、質物一般
三井質店
平四 電話六〇六番

難波醫院
內科一般
醫學博士 難波睦
看護婦募集
平市大町新川端 電話五〇二番

久
横山商店
債券部 現物賣買 勸業債券 復興債券 割引債券
雜貨部 時計 万年筆 レザー各種 化粧品
平市仲間町五六
電話二七一一番 振替東京九〇六〇一

吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番

石炭 コークス 豆炭
㋡ 阿部石炭店
平驛前 電三十七番

季節……料理
江戸前
鳥・あわび うなぎ蒲燒
やな川
仕出迅速 魚榮
平市田町（電話四二四番）
『料理見習人大至急入用』

産科 婦人科 專門
根本醫院
平市南町五二（電三四番）
根本莊次郎
根本貞雄
（手術室完備）
（入院隨時）

美味！ 芳醇！
たひら正宗
山崎合名會社 電話一〇番